

富士川町

第57号

令和6年(2024年)7月25日発行



議会だより



第32回ヤングリーグ春季大会(全国大会) 入場行進

富士川町で活動している硬式野球のクラブチーム「BANDITS YOUNG」
(倉敷マスカットスタジアム)

6月の定例会

- | | |
|--------------|----|
| ■ 新体制でスタート | 2P |
| ■ 定例会で決まったこと | 4P |
| ■ 6人が町の課題を問う | 8P |

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



スタートします！



議長
堀内 春美



副議長
秋山 仁

議長あいさつ

富士川町議会第八代議長の要職を賜り二年経過、その間、前町政で信頼が失墜した町・議会を再生し、信頼される議会にする事を念頭に身の引き締まる思いで活動してまいりました。私たち議会・議員のなすべき事は、町当局と議会が協力し、その中で守るべき二元代表制をしっかりと守り、健全なる財政、あらゆる面で健康な町にして、この町を背負う次世代の子どもたちに引き継ぐ事だと考えます。町民皆で住み良い町にするため一緒に考えましょう。

そのために今年各地区ごとに懇談会を開催する予定です。多くの皆様に参加していただき意見を出し合い一緒に考えたいと思います。

また、昨年開催しました若者議会は若者たちの素晴らしい意見を聞くなかで、こんなに真剣に町の将来を考えている若者がこの町にいてくれた事に感謝し安心しました。更に子どもたちの純真な意見を聞くため子ども議会を開催する予定です。これからも議員一丸となり議会の果たす役割を全うしていく所存でございます。皆さま方のご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

議会運営委員会



議会運営委員会は、地方自治法の規則に基づき、議会運営全般にわたり協議し調整する役割を担っています。

議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する協議、議会改革の推進に関する協議を行います。また議長から負託された会期日程や議案、請願や陳情などの案件について協議し、提言や助言を行います。

これからも「町民に開かれた議会」、「町民の皆様と協働のまちづくり」を目指します。

委員長 青柳 光仁
副委員長 秋山 仁

委員 小林有紀子 小林和良
深澤 一幸 宇田川 朱恵

新体制での議会が

ひとづくり常任委員会

ひとづくり常任委員会では、下記の所管の課の調査研究、審議を行います。町民の皆様から提出される請願についても議会から付託を受け委員会審査を行います。6名の委員が様々な角度から審議していきます。

コロナが終息しましたので、様々な場所への視察、町民の皆様の声を聞く一般会議の開催も検討していきたいと思えます。町民の皆様が主役の協働のまちづくりを念頭に、皆様が住みやすいまちになるよう、ひとづくり常任委員会として積極的に活動してまいります。



委員長 宇田川 朱恵
副委員長 依田 誠司

委員 秋山 仁 望月 眞
小林 有紀子 齊藤 欽也

所管 政策秘書課、財務課、町民生活課、福祉保健課、子育て支援課、教育総務課、生涯学習課、議会事務局

まちづくり常任委員会

まちづくり常任委員会では、下記の所管に示す8課と農業委員会の施策状況の調査と予算審査等を行います。施策状況の実態を確認し問題点があれば、どのような措置を講ずればよいか改善検討を行います。また、議会の予備的審査機関として予算内容の審査を行います。

審査項目は広範囲に渡るために、学習会、研修会等を実施し、必要な知識、情報を取り入れ委員のスキルアップを図ります。住んでみたいまちづくり、住み続けられるまちづくりのため、委員一丸となり委員会活動に取り組みます。



委員長 小林 和良
副委員長 青柳 光仁

委員 井上 光三 鮫田 洋平
深澤 一幸 神田 雅也

所管 管財課、税務課、防災交通課、産業振興課、土木整備課、都市整備課、上下水道課、会計課、農業委員会

6月定例会 で決まったこと

令和6年第2回定例会は、6月7日から14日まで8日間の会期で開催され、承認案9件、条例改正案1件、補正予算案2件、契約締結案1件、連合規約変更案1件、人事案2件を全会一致で承認・可決・同意した。

● 一般会計補正予算 **1億8099万円**

補正後の予算総額 **88億9014万円**

おもな一般会計補正予算

◆ 定額減税補足給付金支給事業	8030万円
◆ 一般コミュニティ補助金	360万円
◆ 新たな物価高騰重点支援給付金事業	5546万円
◆ 新型コロナウイルスワクチン接種事業	3140万円
◆ つくたべかんエアコン移設取付工事	50万円
◆ コミュニティ補助金(災害対策費)	180万円
◆ 町指定文化財保護事業補助金	50万円
◆ ふれあい広域体育館LED照明交換工事	151万円
◆ 鳥獣害防止柵復旧工事	300万円

● 国民健康保険特別会計補正予算 **294万円**

補正後の予算総額 **15億4335万円**



ふれあい広域体育館 LED照明交換工事



鳥獣害防止柵復旧工事

報告案件 5件

- | | | |
|----------------------------|----------|----------------------------|
| 1 一般会計繰越明許費 | 2億8266万円 | 4 株式会社ふじかわまちづくり公社の経営状況について |
| 2 一般会計継続費繰越費
統合中学校設計事業費 | 2060万円 | 5 一般社団法人ふじかわの経営状況について |
| 3 株式会社富士川の経営状況について | | |

専決処分承認案件 9件

- | | |
|--|---|
| 1 税条例の一部改正
①個人町民税
●定額減税について
●新たな公益信託制度の創設に伴う措置
②固定資産税
●固定資産税の土地に係る特例措置の延長
●新築認定長期優良住宅に係る固定資産税の減額特例適用規程の新設 | 5 国民健康保険税条例の一部改正
●後期高齢者支援金の課税限度額を22万円から24万円に引上げ
●軽減措置の判定所得基準額を5割軽減は29万円から29万5千円に引上げ
2割軽減は53万5千円から54万5千円に引上げ |
| 2 都市計画税条例の一部改正
土地に対する課税標準額の特例期限の延長 | 6 一般会計補正予算
事業費確定により1億3366万円減額し
予算総額 84億5729万円とする |
| 3 過疎地域の持続的発展の支援に関する固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
適用期限の3年延長 | 7 介護保険特別会計補正予算
事業確定により3620万円 減額し
予算総額 18億7679万円とする |
| 4 地方活力向上地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正
適用期限の2年延長 | 8 箱原農業集落排水事業特別会計補正予算
事業確定により25万円減額し
予算総額1057万円とする |
| | 9 損害賠償の額を定めた和解
広報誌などで使用したイラストなどの損害賠償額1,115,380円 |

条例改正案件 1件

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正
特定個人情報の情報連携における事務および特定個人情報について「特定個人番号利用事務」「利用特定個人情報」に改正

契約締結案件 1件

東別館他解体工事請負契約書の締結
東別館、東別館分館、ワークハウス、文化財保存庫のアスベスト除去工事を含む解体工事
契約金額 1億5138万円
契約の相手 鈴健興業株式会社

連合規約変更案件 1件

山梨県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議
保険証がマイナンバーカードに移行することに伴い被保険者証および資格証明書の引き渡しなどについて規約変更をする

人事案件 2件

カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区
管理会委員
新任 望月 健二(鳥屋町)
新任 深澤 明雄(柳川町)

おもな質疑

問 国民健康保険税条例の一部改正でどのくらいの影響があるのか。

答 試算では増税が18世帯、減税が8世帯、税収に大きな影響はない。

問 広報誌などで使用したイラストなどの著作権に関わる裁判の行方は。

答 損害賠償額1,115,380円で和解することになった。

問 防犯カメラ設置場所はどこか。

答 児童センターに設置するものである。



児童センターに設置する防犯カメラ(写真はイメージ)

問 官製談合の弁護士費用の内容は。

答 着手金と公訴申請などの費用である。

問 裁判の期間はどのくらいか。

答 5年以上はかかると見込んでいる。

問 役場東別館他解体工事を落札した業者の実績は。

答 県内のアスベストを含む大型解体工事の実績と経験がある。



解体に着手した役場東別館

問 一般コミュニティ補助金申請は2地区だが他にはなかったのか。

答 他地区はなかった。

問 補助金の使用内容は。

答 小林地区は太鼓と付属品の購入、大久保地区は大型草刈機2台を購入する。

問 ふれあい広域体育館のLED照明交換工事にスポーツ振興の補助金はなかったのか。

答 該当する補助金はない。財源としては、地方債を充当することとしている。

令和6年 第2回 臨時会

第2回臨時会を4月19日開催し、青柳議員の副議長辞職に伴う新副議長の選任及び任期満了に伴う各常任委員会の改選を行い、新たな議会構成が決定した。

また、旧増穂商業高等学校体育館の貸借について山梨県と契約を締結。開設に必要な消防用設備修繕、夜間警備機器接続などの整備が必要となり補正予算案件が提出され、審議し原案のとおり可決した。

旧増穂商業高等学校体育館消防用設備修繕費用

一般会計補正予算 73万5千円 補正後の予算総額 87億914万8千円

旧増穂商業高等学校体育館の貸出について

【生涯学習課からのお知らせ】

町民体育館解体後、スポーツ協会の各専門部から、プレー環境の確保を望む声がありました。このことから、スポーツ協会専門部や中学校部活動、地域で活用することができる施設として、旧増穂商業高等学校体育館を県と使用貸借契約を締結し、開設に向けた準備を進めてきました。

このたび、準備が整い、令和6年6月25日から、貸出を行っています。

使用申込みは、教育委員会生涯学習課窓口で受付けています。



旧増穂商業高等学校体育館

常任委員会報告

まちづくり常任委員会

5月7日 旧町民会館解体工事などの入札状況について調査

6月11日 「まほらの湯」リニューアル工事の現地視察

7月11日 「かじかの湯」リニューアル工事の現地視察

ひとづくり常任委員会

6月11日 こども議会の開催に向け、具体的実施方法と課題について協議

一般質問

ズバリ！
聞きます！



一般質問通告一覧

1 望月 眞 議員

- 人口減少化対策について
- 水道管・下水道管・マンホールの耐震化について
- こどもたちの見守り、声かけ活動の推進について
- 国際交流の推進について
- 英語教育の推進について

2 神田 雅也 議員

- リバーサイドパーク構想について
- 増穂小学校の改修計画について

3 小林 和良 議員

- 健康寿命延伸の取り組みについて
- 新庁舎の喫煙所設置について
- 生成AI の自治体業務への活用について

4 小林 有紀子 議員

- セカンドブック事業について
- 難聴で困らないための支援について

- プレコンセプション(妊娠前)ケアの対応について

5 宇田川 朱恵 議員

- 自転車で移動しやすいまちづくりについて
- 超短時間雇用について

6 依田 誠司 議員

- 住宅耐震対策の拡充について

望月 眞 議員



問 現状を踏まえ、新たな人口ビジョン・総合戦略を策定する計画があるのか。

答 政策秘書課長 平成27年に策定した富士川町人口ビジョンでは、令和42年の目標人口を1万6千人と設定した。第2次富士川町総合計画では令和7年の目標人口を1万5270人と定めたが、現時点の人口はこの目標より約1200人少なく、目標人口の見直しが必要である。総合計画や人口ビジョン、総合戦略の関連性を考慮し、一

問 人口減少化対策は

答 人口ビジョンの見直しも行っている

体的な検討が求められるため、現在策定中の第3次総合計画および総合戦略の見直しに合わせ、人口ビジョンの見直しも行っている。

国際交流の推進は

問 町長は国際交流の推進を表明しているが、その目的は。

答 政策秘書課長 国際化

や情報化の進展に伴い、企業や組織、個人に至るまで海外との交流機会が増加し、本町でも外国人住民の増加や長期定住が進んでいる。町内の豊かな自然資源・

観光・文化・情報を活用した交流や企業の国際交流を通じて、町民の国際感覚が豊かになると考えている。特に、子どもたちが異文化交流を通じて多様な文化を体験し理解する環境を整えることが、国際社会に通用する人材の育成につながり、今後の町の発展につながる。と考えている。



子どもたちが輝く富士川町を



問 リバーサイドパーク構想の計画内容は

答 事業ごとに計画を策定し進める

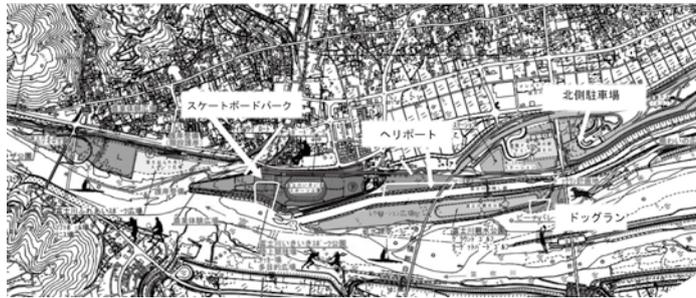
問 リバーサイドパーク構想は、どのくらいの期間をかけて実現させるのか。計画内容は

都市整備課長 富士川 河川敷を利用して行う構想のため、国や関係機関との協議を行い事業ごとに計画を策定し進めていく。全構想を実現するまでの期間は未定であるが、現在策定中の富士川町第3次総合計画に位置づけ進めて行きたい。また、今後個別の施設計画については、必要に応じて整備検討委員会などを設置し住民からの意見集約をしたい。

問 増穂小学校の給水・排水設備改修を令和7・8年に行う計画だが、改修の際に児童の学習環境に支障がないように、どのような工夫を考えているのか。

教育総務課長 給水・排水設備改修工事においても、工事の工程により騒音や振動が発生することが想定されるので、大きな騒音や振動が発生する工程については、夏季休業期間中に実施するなど、

教育活動の妨げにならないように出来るだけ配慮する。



リバーサイドパーク構想



問 健康寿命延伸の取り組みについては

答 健康寿命延伸には健康寿命延伸には動機づけが必要である

問 藤枝市で実施している健康マイレージの様な施策を展開できないか。

町長 住民の健康づくりへの動機づけは、健康寿命を延ばし、医療費の削減につながるため、重要であると認識している。そのため、住民が参加しやすい事業を企画実行することで住民健康づくりの動機づけにつながるよう今後も努めていく。また、無関心層への働きかけも含め、町の健康づくりにとって有効であるか、他の自治体の健康増進事業のメ

リック・デメリットについて、検討していく。

全職員を対象に生成AIの本格導入を進めていく。

問 生成AIの自治体業務への活用は

政策秘書課長 町では文章生成、会議録作成補助などの業務に活用するため文書等を学習するデータベースの作成などの準備を進めている。

※生成AIとは：与えられたデータやパターンから新たなデータを生成する能力を持つ技術。

明年1月には、



生き生きとした生活をいつまでも続けるために!!

小林 有紀子 議員



問

軟骨伝導イヤホン導入は

答

導入を検討する

問 来庁者の手続きがスムーズに行えるよう軟骨伝導イヤホンを窓口に導入し、住民福祉の向上に努める考えは。

プレコンセプションケアの取組みは

問 プレコンセプションケアについての周知や啓発が大事であるが、今後の取り組みについて見解は。

子育て支援課長 プレコンセプションケア

より対応することを心がけている。軟骨伝導イヤホンについては、昨年6月に東京都狛江市において全国で初めて導入した。本町においても軟骨伝導イヤホ

ン導入に向けて積極的
に検討していく。

は、若い世代だけでなく、町民全体に周知啓発を行っていく必要があるため、町のホームページや広報などで周知啓発していく。

※プレコンセプションケアとは：女性やカップルが将来の妊娠を考えながら自分の生活や健康に向き合うこと。



大声を出さずにプライバシー保護にも役立つ

宇田川 朱恵 議員



問

自転車走行のための路面標示は

答

幹線道路への設置を検討していく

問 安全で快適な自転車走行のためにブルーラインや矢羽根型路面標示の設置は。

土整備課長 ブルーラインや矢羽根型路面標示などは、自転車走行の安全性や快適性を高めるために必要であると考える。

超短時間雇用は

問 超短時間雇用を取り入れる考えは。

産業振興課長 超短時間雇用とは、週20時間未満の雇用のことであり、働く能力はあるが、個々の状況などから長時間の就労が難しい方に多様な働き方を創出するものであり、企業にとっても、人手不足の解消や業務効率の改

ブルーラインや矢羽根型路面標示は、車両との交通区分が明確になるため、自動車運転者に自転車の存在を伝えられることから、交通事故のリスクが低減し、道路利用者全体の安全性が向上する。このことから、自転車の

善など、メリットがある。しかし、先進的に超短時間雇用の求職者と企業をマッチングしている自治体もあるが、課題も多いことから普及していないのが現状である。

町でも、先進自治体の取組状況や国の動向を踏まえ、超短時間雇用について、調査・研究をしていきたい。



富士川大橋のブルーライン



問 改修費用の補助について金額、内容の異なる拡充は。

都市整備課長 耐震改修工事の補助金を、今年度から125万円に増額している。これまでに、改修工事が補助金以上にかかるケースがあることは認識している。

住宅の一室だけを耐震にするシエルト設置事業や、既存の壁や床、天井を最小限で補強することが出来る工法など、低価格で行える耐震工事の事例もある。低価格で実施できる事業や工法など、住

問

住宅耐震対策の充実は

答

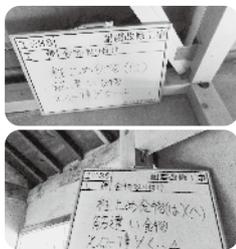
補助金の充実を検討する

民に周知し多くの方々
に耐震改修が出来るよ
うに補助の拡充につい
ても検討している。

問 新耐震基準の昭和
57年から平成11年まで
に建てられた木造住宅
に、耐震診断及び改修
工事に費用補助の考え
は。

都市整備課長 現在、
旧耐震基準の木造住宅
に対し、耐震診断およ
び改修工事の補助金を
行っている。旧耐震基
準は耐震性が不十分な
建物とされており、昭
和56年6月以降は耐震
性の図られた新耐震基

準の建物として区分さ
れている。さらに平成
12年には、耐震向上の
ため、新耐震基準が見
直されたが、現在、国
は旧耐震基準の住宅を
令和12年までに解消す
る目標を定めている。
町でも旧耐震基準の住
宅の耐震化を最優先と
し、新耐震基準の住宅
に対する費用補助は今
後の検討課題である。



耐震補強工事

山梨県町村議会議長会

自治功労者表彰受賞

受賞者

堀内 春美 議員
青柳 光仁 議員

令和6年5月29日、山梨県自治会館において富士川町議会議員2名が表彰されました。

議会活動を通じ地方自治の進展のために大きな役割を果たしていることを高く評価し、その功労に報いるため、各都道府県町村議会議長会の推薦に基づき表彰を行っているものである。



堀内 春美 議員



青柳 光仁 議員

特別委員会報告

こども条例制定特別委員会

こども権利条例「富士川町すこやかさわやかこどもの権利条例（仮称）」の制定にむけて本年度中の制定を目指す。

条例の目的

こどもの「生きる権利」「学ぶ権利」「成長する権利」「差別されない権利」を保障し、「こどもの意見を尊重する」社会・町をつくっていくこと。

制定を目指す背景

- 世界中には、紛争や飢餓により命の危険にさらされている子どもたちが数百万人もいます。他方、豊かな国とされている日本においては「いじめや、差別」により自ら命を立つ児童生徒が年間500人を超えています。また、身勝手な大人の行為により命を落とす子どもも絶えません。
- 少子化の続く中であって、かけがえのない存在である子どもたちが「こどもの権利条例」に守られ、平和で差別のない社会を求める主権者に成長していくことを願っています。

経過と現状

- 令和4年より「ひとつづくり常任委員会」にて検討。資料収集及び先進事例の研究。
 - ➔ 条例の骨子案を作成
- 令和5年9月議会にて「こども条例制定特別委員会」を設置。
 - ➔ 先進地視察研修と素案内容について議論を進める。
- 現在、こども権利条例の最終素案を検討中。

今後の予定

- 条例案確定後、町民に公表し幅広く意見を求める。
- 関係者との意見交換会の開催や説明会等を実施する。その後、特別委員会にて検討修正を行い、定例議会へ上程する。

中学校整備等検討特別委員会

議会だより56号に掲載した、2月13日の質問・意見に対する、教育委員会からの回答（4月19日付）は以下の通りです。

質問 現増穂中学校校舎の解体費、運動場整備、外構整備費等を含めた新校舎建設の概算経費の見込み額は。

回答 校舎建築のみで、22億円から26億円を想定している。現在基本設計をまとめているところであり、外構等の経費の算出はその後になる。

質問 校舎の木質化をどのように進めていくのか。また、文部科学省や山梨県の補助金制度は活用できるのか。

回答 公立中学校における木材利用に活用できる補助金について研究中である。



建設予定地から校舎をのぞむ



新校舎イメージ図

議会だよりに皆さまの声を!

議会広報モニター 8人を委嘱



委嘱期間は議会だより60号(令和7年3月議会)までとなります。

モニターの皆さまには読みやすくわかりやすい議会だよりになるよう、ご意見をいただきます。1年間よろしくお願いいたします。



深沢 律貴さん



杉田 照代さん



坂本 ゆかりさん



齊藤 学治さん



渡邊 直美さん



前島 まいさん



鈴木 寛長さん



山田 大介さん

富士川CATVによる議会の放映を ご覧ください



定例会の議長あいさつ、町長所信表明および一般質問の様子は定例会開催月の下旬から富士川CATV(11ch)でご覧いただけます。

日程は、富士川CATV番組内の「富士川町からのお知らせ」および町のホームページの「富士川町からのお知らせ」をご覧ください。

なお、放映終了後に町のホームページにおいても視聴することができます。

スマートフォンは
こちらから



ホームページ掲載場所

富士川町ホームページ
(トップ)

▼
町政情報

▼
町議会

▼
一般質問(録画)

追跡

シリーズ

どうなった?



あの質問、 その後は…

議員が行った一般質問が町政にどう反映されたのか、追跡調査を行いました。
(2件を選別掲載)

大地震における生活水の確保について (令和6年3月の一般質問)

大地震においては生活水が全く使えない現実がある。生活水の確保をどのように考えているのか。

井戸水も生活水確保の手段と考える

家庭の井戸を災害発生時に活用できるよう、災害時生活水協力井戸としての登録制度を実施していく。

富士川町災害時生活水協力井戸の登録制度

令和6年7月1日より運用開始
災害時に水道による給水が困難になったときに、飲料用以外の用途に使用する水を提供できる井戸を登録頂き、広く町民に知らせる制度が7月1日より始まる。



協力井戸

質問

答弁

その後の進捗

通学路の歩道を平らな歩きやすい歩道に整備できないか (令和4年9月の一般質問)

通学路の町道金手小林2号線、町道天神中条長沢1号線において、アップダウンの繰り返しがある部分を平らなセミフラット形式の歩道へ移行できないか。

改修を進めていく

現在、歩道はセミフラット形式が基本とされており、安全性も確保できるため、今後も順次セミフラット形式への改修を進めていく。

順次セミフラット形式の歩道へ改修を行う

町道天神中条長沢1号線の歩道をセミフラット形式の歩道へ一部改修を行う。

※セミフラット形式とは…従来の歩道と違い歩道全体を車道より5cmだけ高くし、車両乗り入れ部の急こう配をなくすことにより、歩きやすくする。



セミフラット形式の歩道



ドッグラン^{OPEN}



6月9日(日)に富士川親水公園内にドッグランがオープン。

この日を待ち望んだ愛犬家が列を作っていました。開園式典終了後に開錠してもらったワンちゃんたちは、園内を走り回り楽しそうでした。

しつけ認定会や愛犬との記念撮影会などがオープニングイベントとして開催され、多くの愛犬家でにぎわっていました。

ドッグランを利用された方にお話を伺いました。

- 町内にドッグランができることを待ち望んでいた。
- 町外の方も完成を喜んでいました。
- 土曜日は多くの方々が利用していました。
- 暑い日にはもう少し日影ができるように工夫して欲しい。
- ドッグランの各エリア内にも水飲み場や足洗い場があると良い。
- 事前登録の方法・手順をもう少しわかりやすくしてほしい。



ドッグラン入口

このドッグランについては、令和5年12月定例会において整備事業費が補正予算として計上されたが、整備事業費2,500万円の減額修正の動議が提出され、議会でも賛否が拮抗し、討論・採決が行われたのち修正案が否決された事業です。

6月9日のオープンから6月末までの約1か月で、延べ620件の利用がありました。

利用者さんの声を聞きながら、町内外の愛犬家の方々の交流の場として、また、町が進めるペットツーリズムの拠点として今後も多くの方が快適に過ごせる場となるよう、議会としても注目していきます。



富士川町

今昔物語

くらべてみました、
変わりゆくわが町の今と昔

甲斐青柳駅

甲斐
青柳駅



終点甲斐青柳駅 (個人所有) 北側から撮影

現在



かすかな記憶のあなたに、在りし日の『ボロ電』が走っていませんか？通勤、通学、行楽に利用した記憶が…

議会だより第51号にも掲載された『ボロ電』。開業以来いくつかの社名変更の変遷をたどりながら、最後は「山梨交通株式会社 電車線」として、1962 (昭和37年) の廃線までの32年間公共交通機関の役割を十分果たしてくれました。自動車の普及、度重なる自然災害により短い運行を終えましたが、身延線鵜沢口まで延伸の計画もあったようです。繋がっていただくとわくわくしますね。

現在は駅の面影はなく飲食店、役場東別館が建っています。

撮影年月日は不明ですが、駅名標の左下『ながさは』は時代を感じます。JR甲府駅から南西へ約3km、住宅地の中に「山梨交通電車線跡の碑・ミニ公園」があります。2020年12月に完成した公園で、当時のレール、敷石、駅名標が設置されています。ここが開業当初の貢川駅です。

ボロ電の思い出

70代男性：小学生の時、十日市に電車に乗って行きましたが、お金を使いすぎて帰りは最寄りの駅から歩いて帰って来た思い出があります。

80代男性：巨摩高校に通学するのに乗りました。電車の前は女子学生、後ろは男子学生が乗車し、その真ん中には先生が両者をわけるように乗っていたとのこと。

広報常任委員会

まちづくり、ひとづくりの各常任委員会から選ばれた3名ずつ計6名で広報常任委員会を構成しています。改選期の今月号からは経験者、継続者、新委員とバラエティーに富んだメンバーとなっています。年4回の定例会終了後に発行する議会だよりは、定例会、臨時会の内容を主に記事として掲載しています。行政の動きが分かるような紙面づくり、読みやすい紙面づくりを目指し、町の広報誌とはひと味違う視点で発行していきます。

委員長 深澤一幸 **委員** 鮫田洋平 齊藤欽也
副委員長 神田雅也 依田誠司 宇田川朱恵

